

アネスト岩田株式会社 2022年3月期 決算補足説明資料

2022年5月10日

東証プライム市場 機械

証券コード6381

コロナ禍からの回復と当社施策により海外市場が売上高を牽引。11月修正値超え

売上高：42,337百万円（前年比 +6,748百万円、+19.0%）

営業利益：4,780百万円（同 +1,335百万円、+38.8%）

エアエナジー
事業

- ・2018年に買収・子会社化したSCR社による寄与が加速。中国を主とした汎用圧縮機の売上が年間を通じて好調に推移
- ・半導体関連装置向け真空ポンプの売上が伸長

売上高：25,015百万円（前年同期比：+4,149百万円、+19.9%）

営業利益：2,513百万円（同：+692百万円、+38.0%）

営業利益率：10.0%（同：+1.3pt）

コーティング
事業

- ・欧米を中心にスプレーガンを中心とした売上高が伸長
- ・塗装設備は前年のコロナ禍による営業活動停滞の影響を受けて減少

売上高：17,321百万円（前年同期比：+2,599百万円、+17.7%）

営業利益：2,267百万円（同：+643百万円、+39.7%）

営業利益率：13.1%（同：+2.1pt）

（注）事業別営業利益は当社グループ独自の基準により算定

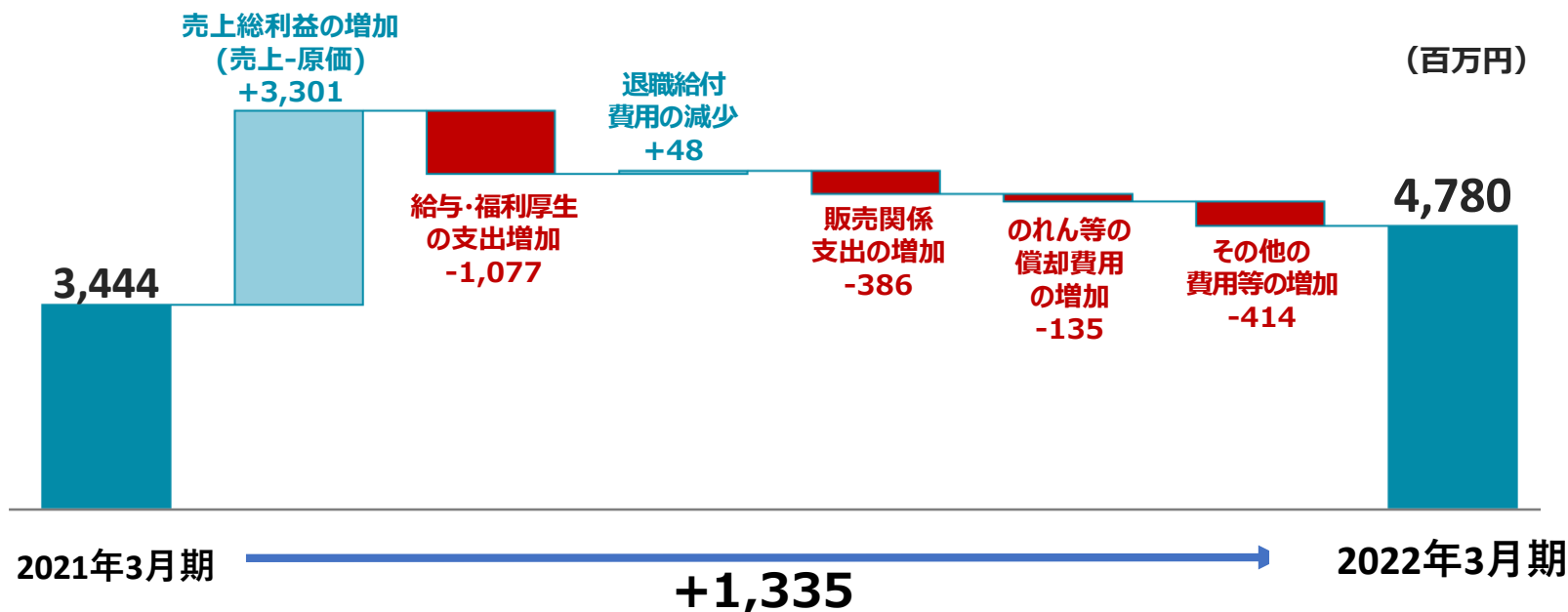
売上高及び各利益指標において、1926年創業以来の過去最高実績を実現

売上高は、海外市場（特に子会社化したSCR社の業績が順調な中国）が牽引。為替の影響は16.9億円。営業利益率は、商品ミックスの良化と、業務改革に伴う効率化により上昇。

	2021年3月期		2022年3月期		前年比			2022年3月期業績予想	
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化 (P)	期初予想 予想値 (百万円)	11月5日修正後 予想値 (百万円)
売上高	35,588	—	42,337	—	+6,748	+19.0	—	38,500	40,500
営業利益	3,444	9.7	4,780	11.3	+1,335	+38.8	+1.6	3,600	4,250
経常利益	4,253	12.0	5,572	13.2	+1,318	+31.0	+1.2	4,100	4,770
親会社株主 帰属純利益	2,623	7.4	3,541	8.4	+918	+35.0	+1.0	2,515	2,960
平均為替レート 円/米ドル	106.82 円		109.80 円		2.98 円 円安			103.00 円	109.00円
平均為替レート 円/ユーロ	121.81 円		129.89 円		8.08 円 円安			118.00 円	130.00円
平均為替レート 円/人民元	15.48 円		17.03 円		1.55 円 円安			15.00 円	16.80円
配当	中間	13円 (12円)		期末 (予想)	17円 (12円)		年間 (予想)	30円 (24円)	

※配当について：（ ）内は期初予想値。2022年3月期期末配当金は6月24日開催予定の第76期定時株主総会で正式に決定する予定です。

3Qに続き増収効果が活動量の増加に伴うコスト分を吸収し、増益に寄与



[+] **売上高の増加** : 42,337百万円 (前期比 +6,748百万円)

[+] **原価率の良化** : 56.9% (前期比 -1.1pt)

・商品ミックスの変動(塗装機器↑、塗装設備↓)や事業譲受を行ったアメリカ子会社の収益良化など

[+] **販売管理費率の良化** : 31.8% (同 -0.5pt)

・WEB活用と対面営業の最適化に伴う経費コントロールの定着など

[-] **のれんの償却額の増加** : 254百万円 (前期比+49百万円)、減価償却費 (前期比+85百万円)

・アメリカにおける事業(塗装機器販売)譲受ほか

[-] **その他の費用等に含まれる支払手数料の増加** (前期比 + 308百万円)

・内、IT投資に係る支払手数料*1は約148百万円

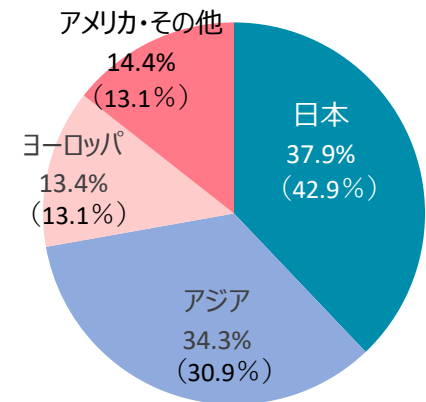
*1 商品情報の管理などを含む受注システム関連ほか

海外市場好調及び当社施策の奏功により、海外売上比率上昇（62.1%）

- ・日本：増収。圧縮機用モータの供給遅延による影響を受けるも、対応策が下支え。コロナ禍で塗装設備の営業活動が停滞したことが下押し要因。国内は競争環境が厳しいが値上げ等により、利益確保を優先。
- ・ヨーロッパ：増収。変異株に伴う感染拡大下においてもWEB,SNSなど効果的な販促策を実施。自動車補修向けスプレーガンが伸長。景気回復に伴い真空ポンプも堅調。
- ・アジア：増収。中国SCR社による圧縮機の中国国内及び輸出に伴う販売、インド子会社の医療向け圧縮機販売が高水準で推移。東南アジアも塗装設備を除き回復基調に転換。
- ・北米その他：増収。アメリカの自動車補修市場における事業の一部譲受に伴う塗装機器の伸長や真空機器の新規顧客開拓に伴う売上増加。ブラジルの医療向け圧縮機も堅調。

(百万円)	2021年 3月期	2022年 3月期	増減額	増減率 (%)	エアエナジー事業		コーティング事業	
					圧縮機	真空機器	塗装機器	塗装設備
日本	15,271	16,050	779	+5.1	○	◎	○	×
ヨーロッパ	4,651	5,663	1,011	+21.8	○	◎	◎	-
アジア	10,988	14,536	3,548	+32.3	◎	◎	◎	◎
北米その他	4,677	6,086	1,409	+30.1	◎	◎	◎	×
合計	35,588	42,337	6,748	+19.0	◎	◎	◎	×

■ 構成比
2022年3月期
(2021年3月期)



注) 納入地ベースでの実績換算

◎ 10%～ ○ 3%～10% △ 0%～3%
▼ 0%～-3% ● -3%～10% × -10%～

売上高44,000百万円(+3.9%)、営業利益4,900百万円(+2.5%)

		2022年3月期 (実績)	
		実績 (百万円)	構成比 (%)
売上高		42,337	100.0
エアエナジー	圧縮機	22,950	54.2
	真空機器	2,064	4.9
	小計	25,015	59.1
コーティング	塗装機器	14,451	34.1
	塗装設備	2,869	6.8
	小計	17,321	40.9
営業利益		4,780	11.3
エアエナジー		2,513	—
コーティング		2,267	—
経常利益		5,572	13.2
親会社帰属当期純利益		3,541	8.4
平均為替レート 円/米ドル		109.80	(実績)
平均為替レート 円/ユーロ		129.89	
平均為替レート 円/人民元		17.01	
※配当 (中間+期末=年間)		13円 + 17円 = 30円	

2023年3月期 (予定)			
目標額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
44,000	100.0	+1,662	+3.9
—	—	—	—
—	—	—	—
26,000	59.1	+984	+3.9
—	—	—	—
—	—	—	—
18,000	40.9	+678	+3.9
4,900	11.1	+119	+2.5
2,600	—	+86	+3.5
2,300	—	+32	+1.5
5,650	12.8	+77	+1.4
3,580	8.1	+39	+1.1
118.00	(想定)		
137.00			
18.50			
15円 + 16円 = 31円			

※配当について：2022年3月期期末配当は6月24日の第76期定時株主総会で正式に決定する予定です。2023年3月期は予想値です。

**東欧の紛争や中国を主としたコロナ禍など、世界的に不透明な状況を想定
一方で値上げの浸透や業務改革を継続し、増収増益を目指す**

売上高44,000百万円（+3.9%）について、以下を見込む

- ・東南アジア、中国を主とした新型コロナウイルス禍による世界経済への影響
- ・ヨーロッパ東部における紛争による資源価格の高騰など、ヨーロッパを始めとした世界経済への影響
- ・為替については、想定レートを基準としながらも、柔軟に見直し
- ・半導体や電子部品の供給不足に伴う生産への影響
- ・塗装設備受注残の着実な納入

営業利益4,900百万円（+2.5%）について、以下を見込む

- ・2022年3月期に続き、営業改革や業務効率の改善を継続。コロナ禍以前への揺り戻しを回避
- ・原材料及び物流費の高騰に対する値上げのさらなる浸透

＜IT投資は計画通り。工場設備投資は増産検討のため次年度へスライド。実績下振れ＞

（実績）4Q：設備投資額78.4%（内IT関連:603百万円）、研究開発費91.1%

IT関連投資：業務改革関連システムの構築やネットワークの整備など、未検収分の約150百万円と合せて年間約753百万円を使用。

その他の投資：工場設備投資にて、増産に向けた再検討を実施し次年度へスライド。

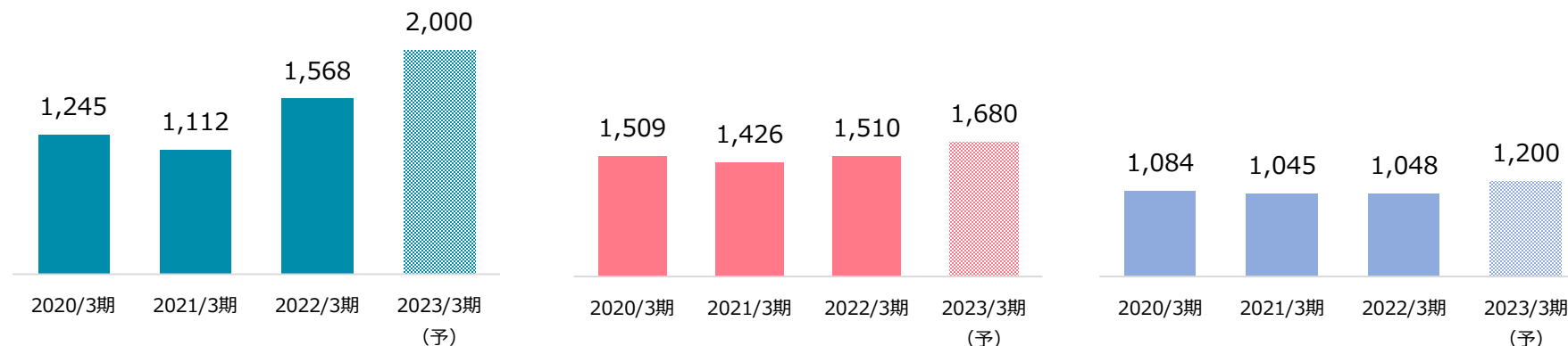
(百万円)	2022年3月期			
	設備投資額	減価償却費	研究開発費*	売上高
実績 (進捗率)	1,568 (78.4%)	1,510 (97.4%)	1,048 (91.1%)	42,337
計画	2,000	1,550	1,150	—
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種工作機械等 (新設・更新) ・生産ラインの増強 ・通信インフラ整備 ・IT関連投資 			

(注) 研究開発費：研究開発に係る一般管理と製造経費の合計値

設備投資額 (百万円)

減価償却費 (百万円)

研究開発費 (百万円)



配当方針

成長投資の為の内部留保確保と安定配当の両立
配当性向は35%を目安

配当

2022年3月期（予定）： **年30円**（中間13円 + 期末17円）
2023年3月期（予想）： **年31円**（中間15円 + 期末16円）

自社株買い

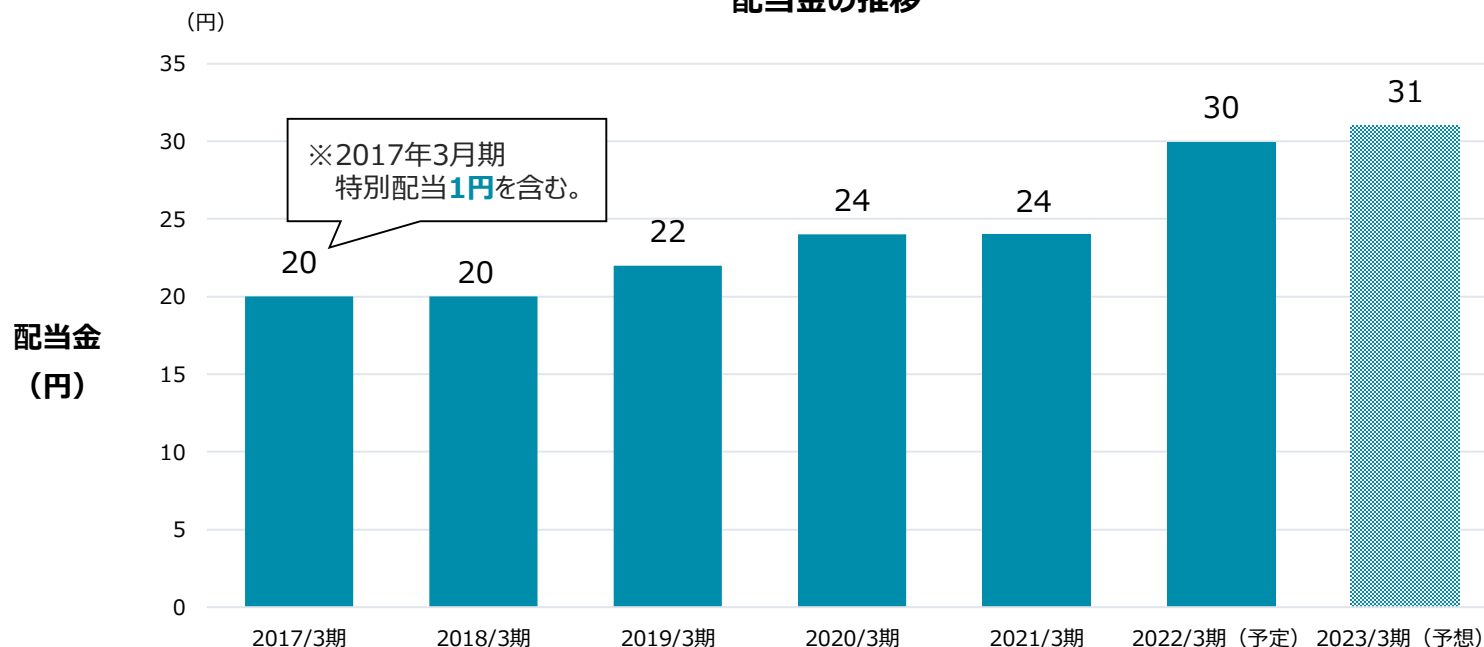
68.2万株（自己株式を除く発行済株式数の1.65%）あるいは500百万円を上限に
自社株買いを実施。予定期間は2022年1月27日～2022年6月30日。

■買付完了（4月28日）

61.69/68.2万株（90.5%） 499.9/500百万円（100%）

発行済株式数：41,745,505株

配当金の推移



「健康経営銘柄2022」に初認定（2022年3月）



2022年3月、従業員とその家族の健康に配慮した経営を実践している企業として、経済産業省より「**健康経営銘柄**」及び「**健康経営優良法人（ホワイト500）**」に認定されました（ホワイト500は2年連続）。

「健康経営銘柄」とは、経済産業省と東京証券取引所が共同で企業を選定する制度であり、全業種で「健康経営優良法人」に認定された2,299社法人の中から、業種毎に原則1社が選定されます。

当社は従業員とその家族が「笑顔でイキイキ輝ける」ように、さまざまな健康維持・増進活動を戦略的に実施しております。また、社内トレーニングジムの設置など、健康増進のためにスポーツ実施に向けた積極的な取り組みをしている企業として、「**スポーツエールカンパニー2022**」にも認定されております。

これからも、全従業員に健康の大切さを啓蒙しつつ、健康維持・増進に向けた活動を全社一丸と なって推進し、「**機械セクタにおけるホワイト企業トップ**」を目指してまいります。

売上増加や商品ミックスの寄与で売上原価率低下。業務改革に伴う経費コントロールの定着により販売管理費率は0.5ポイント低下。営業利益率は1.6ポイント上昇

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率 変化 (P)
売上高	35,588	—	42,337	—	6,748	19.0	—
売上原価	20,662	58.1	24,109	56.9	3,447	16.7	-1.1
売上総利益	14,926	41.9	18,227	43.1	3,301	22.1	1.1
販売管理費	11,481	32.3	13,447	31.8	1,965	17.1	-0.5
営業利益	3,444	9.7	4,780	11.3	1,335	38.8	1.6
営業外収益	940	2.6	892	2.1	-48	-5.1	-0.5
営業外費用	131	0.4	99	0.2	-31	-24.0	-0.1
経常利益	4,253	12.0	5,572	13.2	1,318	31.0	1.2
特別利益	96	0.3	15	0.0	-81	-84.3	-0.2
特別損失	213	0.6	45	0.1	-167	-78.6	-0.5
税金等調整前純利益	4,136	11.6	5,541	13.1	1,405	34.0	1.5
法人税等	1,092	3.1	1,392	3.3	300	27.5	0.2
非支配株主帰属純利益	420	1.2	607	1.4	186	44.3	0.3
親会社株主帰属純利益	2,623	7.4	3,541	8.4	918	35.0	1.0

<参考情報> 2022年3月期 業積推移

【累計】

単位：百万円		2022年3月期			
		1Q	1~2Q	1~3Q	1~4Q
売上高		9,100	20,360	30,229	42,337
前年同期比		31.6%	23.2%	18.5%	19.0%
エアエナジー	圧縮機	5,061	11,199	16,889	22,950
	前年同期比	34.2%	26.4%	21.3%	18.9%
	真空機器	411	914	1,437	2,064
	前年同期比	52.0%	36.5%	36.1%	32.2%
売上高		5,473	12,114	18,326	25,015
前年同期比		35.4%	27.1%	22.3%	19.9%
コーティング	塗装機器	3,311	7,156	10,446	14,451
	前年同期比	22.3%	38.1%	28.9%	25.9%
	塗装設備	316	1,089	1,456	2,869
	前年同期比	92.3%	-40.1%	-40.0%	-11.4%
売上高		3,627	8,246	11,903	17,321
前年同期比		26.3%	17.7%	13.0%	17.7%
営業利益		893	2,378	3,527	4,780
前年同期比		117.8%	66.3%	42.7%	38.8%
エアエナジー	営業利益	447	1,250	2,028	2,513
	前年同期比	123.6%	55.8%	53.2%	38.0%
コーティング	営業利益	446	1,128	1,499	2,267
	前年同期比	112.2%	79.7%	30.7%	39.7%

【3か月ごと】

単位：百万円		2022年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高		9,100	11,259	9,869	12,107
前年同期比		31.6%	17.1%	9.9%	20.2%
エアエナジー	圧縮機	5,061	6,138	5,689	6,061
	前年同期比	34.2%	20.7%	12.3%	12.7%
	真空機器	411	502	522	627
	前年同期比	52.0%	25.9%	35.4%	24.2%
売上高		5,473	6,640	6,212	6,689
前年同期比		35.4%	21.1%	13.9%	13.7%
コーティング	塗装機器	3,311	3,845	3,290	4,004
	前年同期比	22.3%	55.3%	12.7%	18.5%
	塗装設備	316	772	366	1,413
	前年同期比	92.3%	-53.3%	-39.5%	73.8%
売上高		3,627	4,618	3,657	5,418
前年同期比		26.3%	11.8%	3.7%	29.3%
営業利益		893	1,485	1,149	1,252
前年同期比		117.8%	45.6%	10.4%	28.7%
エアエナジー	営業利益	447	803	777	485
	前年同期比	123.6%	33.4%	49.1%	-2.4%
コーティング	営業利益	446	681	371	767
	前年同期比	112.2%	63.3%	-28.5%	61.2%

塗装用スプレーガンとそれを検査するコンプレッサの製造から出発

1926年創業

(旧社名：岩田製作所)

米国社製を手本に
スプレーガンの製造を開始

スプレーガン

塗装用ハンドガン

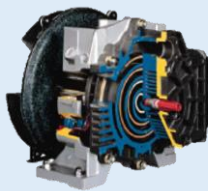


圧縮空気で
塗料を霧状に

コンプレッサ

空気圧縮機

スプレーガンの検査用
圧縮機として製造開始



製品の差別化を
可能にしたコンセプト

- ・環境対応
- ・塗面作成の提案力

- ・オイルフリー化
- ・省エネ性

製品の多様化
用途の開拓



塗装ロボット



エアブラシ

コーティング事業

塗装機器：
スプレーガン、塗料供給
ポンプなどの機器単体

塗装設備：
塗装機器と換気や乾燥
装置、塗装ロボットなどを
組み合わせたシステム

エアエナジー事業

圧縮機：
空気圧縮機、N2ガス発生
装置、タンクなどの補器類

真空機器：
真空ポンプ、バルブなどの
補器類



オイルフリー
スクロール型
真空ポンプ



オイルフリー
スクロール型
圧縮機

将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。

お問合せ先： アネスト岩田株式会社
 経営企画部 IR広報室
 TEL: 045-591-9344
 E-mail : ir_koho@anest-iwata.co.jp
 URL : <https://www.anest-iwata.co.jp/>